

〔目的〕キルギスタンは中央アジアの一共和国で、中国天山山脈の西側の山麓に位置している山国である。演者らは、1994年7月から8月にかけてキルギス共和国を訪ね、食にかかわる資料収集、調査などを実施したのでこれらを紹介し、キルギス国の食文化とその背景を考える。

〔結果〕キルギスタンの人口は約450万人で、人口密度は20人/㎢で首都はビシケクである。平均標高は1,300mで、国土の40%以上は海拔3,000m以上である。キルギス人の他に、ロシア人、ウズベク人などが住む多民族国家で、遊牧民由来の国ではあるが、中国からの移住民によってオアシスや灌漑を利用した野菜や果実の栽培が行われ、小麦を中心とした穀類もほぼ自給されている。日常の基本食はパンを主食として、羊肉や野菜料理を副菜とする。乳や乳製品の利用は多くなく、麺類や茶をはじめとする中国の食文化の影響もみられるが、ロシアや西アジアの影響の方が大きいと思われた。